



女性に対する暴力をなくすために、 男性とともに取り組む

日時：2022年**11**月**22**日（火） **18:00~20:00**

開催方法：

◎会場参加 定員**50**名

（近畿ろうきん 肥後橋ビル12階 メインホール）

◎オンライン（YouTubeライブ配信）定員なし

参加料無料
（事前申込み制）

これまで4年間、毎年11月「女性に対する暴力をなくす運動」期間にセミナーを実施し、DVやハラスメント、性暴力など、女性に対する暴力を取り巻く実情や支援の取組みについてお伝えしてきました。

しかし、女性に対する暴力は、被害者女性と暴力をふるう男性の問題だけではなく、社会全体で考えていく必要があります。そこで、5回目となる今年度のセミナーでは、暴力を振るわない大多数の人々、とりわけこの問題を他人事であると感じがちな男性にも身近な問題として捉えていただき、社会全体で何ができるかを考えていきます。

第1部

基調講演

「女性に対する暴力をなくすために、男性に何ができるか」

講師：多賀 太氏

（一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表、関西大学教授）

専門は教育社会学、ジェンダー学。1990年代半ばから男性の生き方を問い直すメンズリブの市民活動に参加。2016年、女性に対する暴力防止に男性の立場で取り組む「一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン(WRCJ)」を設立し共同代表に就任。



第2部

トークセッション

登壇者：多賀 太氏

松井 千穂氏（連合大阪 労働政策・ジェンダー平等・非正規対策グループ）

柴田 智恵氏（大阪府女性相談センター）

主催



共催



女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」について

世界を子どもや暴力の被害者にとってより安全なものとするを目的として、1994年、アメリカ・ニューハンプシャー州の小さな町で、近親姦やレイプのサバイバーによって生まれたものです。紫色のリボンを身につけることで、パープルリボン運動の趣旨への賛同を表明することができ、個人間の暴力や虐待に関心を呼び起こすとともに、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願いから、40か国以上に広がっている、国際的なネットワークに発展した草の根運動です。



SDGs : ジェンダー平等を実現しよう



持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) の17のゴールの一つに「ジェンダー平等を実現しよう」とあります。すべての女性と女の子に対するあらゆる差別をなくし、性的に、また、その他の目的で一方的に利用することをふくめ、すべての女性や女の子へのあらゆる暴力をなくすこと等を達成目標に定められています。

<申込方法>

11月18日(金)までに大阪府インターネット申請・申込みサービスにてお申込みください。

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022080028>

右下のQRコードからもお申込みいただけます。

※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響等により、会場参加をやむなく中止し、オンライン開催のみとなる場合がございます。

※オンライン参加希望の方へは、後日YouTubeのURLをメールでお送りします。
会場参加希望の方への受講証は発行しませんので、当日会場までお越しください。
なお、会場定員超過の場合は、オンラインのご案内をいたします。

※注意事項：以下に該当する事項は、固くお断りします。

- ・セミナーの「録画」「録音」「撮影」
- ・資料の2次利用
- ・参加者情報の公開
- ・YouTubeのURLの無断共有



※収集した個人情報は本セミナーの運営に使用させていただくため、主催者・共催者・出演者で情報共有させていただきます。また、同意があった場合は大阪府男女参画・府民協働課が実施する男女共同参画推進事業(セミナー等)のご案内に使用させていただきます。

<会場へのアクセス>



近畿ろうきん肥後橋ビル
(大阪府大阪市西区江戸堀1-12-1)

Osaka Metro

「肥後橋駅」10番出口すぐ
「淀屋橋駅」4番出口より、徒歩8分

京阪電車

「渡辺駅」7番出口より、徒歩5分
「淀屋橋駅」4番出口より、徒歩8分

<問合せ先>

大阪府府民文化部 男女参画・府民協働課 男女共同参画グループ

電話 06-6210-9321 FAX 06-6210-9322

メール danjo-fumin@sbox.pref.osaka.lg.jp

障がい等により配慮を希望される方は、事前に担当までご相談ください。

主 催：大阪府、大阪府配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援ネットワーク

共 催：特定非営利活動法人いくの学園、近畿労働金庫、

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）（50音順）

協 力：社会福祉法人大阪ボランティア協会

後 援：大阪府生活協同組合連合会ジェンダーフォーラム協議会、大阪府教育委員会、

大阪府男女共同参画推進ネットワーク会議